

# お天気解説

## アキラのズバッと

### 増える熱帯夜

令和5年6月23日

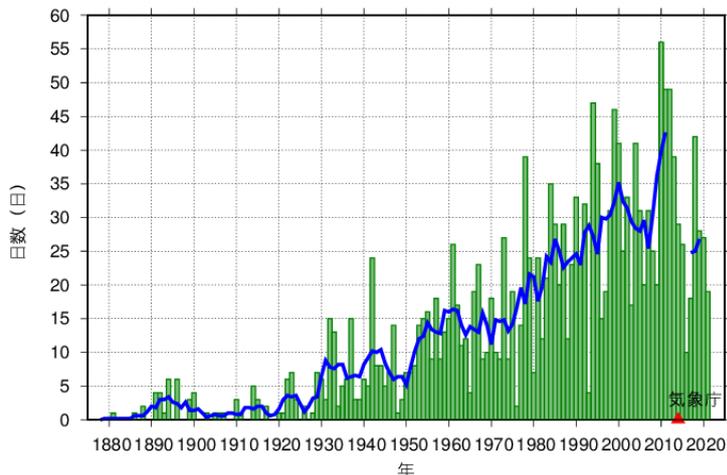
江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

6月も終わりに近づき、蒸し暑さを感じるようになりました。夜でさえ暑さが残り、最低気温が25℃を下回らない日を「熱帯夜」とよんでいます。平年では、年間に東京都心で17.8日、江戸川臨海で22.0日も寝苦しい熱帯夜があり、昨年は江戸川臨海で31日もありました。部屋の中でも熱中症になることがあるので注意が必要です。

熱帯夜は昔の東京では珍しいことでした。グラフは東京都心の熱帯夜について、年間の日数をグラフにしたものです。気象観測の始まった明治～大正時代は年間に多くても7日程度で、0日だった年も珍しくありませんでした。ところが、近年では20～50日前後となり、ぐっと増えています。

都市の生活は明治大正のころと比べて大きく変わり、車も工場もエアコンも使うようになりました。緑が減ってしまい、照り返しの強いコンクリートの道路や建物が密集して気温も上がりやすくなっています。便利である一方で、弊害もあるのです。

東京の年間熱帯夜日数



図：気象庁HP（大都市における熱帯夜日数の長期変化傾向）より

週末のお天気		2023年06月23日11時 気象庁 発表		
日付		今日 23日(金)	明日 24日(土)	明後日 25日(日)
東京地方		曇	曇後時々晴	曇時々晴
降水確率(%)		-/-/20/30	10/10/20/20	30
信頼度		-	-	-
東京 気温 (℃)	最高	26	29	29 (28~31)
	最低	-	21	21 (20~23)

東京地方の週間天気予報より  
気象庁HPから抜粋・加工  
(クリックすると新しい情報が見られます。)

私が幼少期を過ごした1960年代の東京にはまだ銀座に路面電車が走っていて、原宿駅付近は木々が鬱蒼として少し気味が悪いくらいでした。引っ越した中野区鷺ノ宮は武蔵野そのもので、自宅近くに広い笹藪があり、秘密基地ごっこをしました。林や草地も多く沼もあり、昆虫採集もたくさんしました。夜は「天の川」も見えましたが、1970年ごろから環境が大きく変わっていきました。